

なかよし・けんこう・とくよく

天見小校長室だより 11月号

令和7年10月31日
天見小学校

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校



先日まで、半そでで「暑い。暑い。」と言っていたのに、急に、長袖でも「寒い。寒い。」と話をするようになったと思ったら、すっかり冬の寒さに突入し、天見小では、夜遅くにはストーブデビューをするほど寒くなってしまいました。「紅葉も楽しみ、秋を感じたいのに、もう冬なんて。」と思いながら、久しぶりに晴れた外の景色を見ると、校長室から見える桜の木の葉っぱがずいぶん色づいてオレンジや赤に光っています。この紅葉にも気が付かないほど、あくせくとしていた自分を感じました。「最近、忙しかったからなあ。」余裕なく動いているときにこそ、ふと、自然の色を目で見たりして、心をリラックスさせるってとても大切なように感じました。

運動会

10月19日、天気は危ぶまれた中、予定より1時間半遅れで、開催しました運動会。最近、このパターンが多く、当日の雨を心配している年が続いています。でも何とか無事に終えることができ子どもたちの演技も最後まで見ていただけて良かったです。

ご観覧してくださった皆様も傘を広げたり閉じたり天気の中、最後まで、子どもたちへの大きな声援を送ってくださり、本当にありがとうございました。子どもたちも、思う存分、力を発揮できたことと思います。

天見小学校の子どもたちは皆が一生懸命で、自分の頑張りを惜しみなく見せてくれます。その一生懸命さが我々大人にも伝わり、元気をもらえている感じがします。「子どもたちがこんなに頑張っているのだから、我々も頑張らなきゃ。」そう思えるからです。

練習の時から、団体演技でダンスをやっているときも、顔が明るく笑顔で楽しそうだったり、和太鼓への取り組みで顔がきゅっと真剣さを増していたり、フラッグや組み立て体操での演技ではできない悔しさと、あきらめず頑張り切った自信と、真剣さが伝わり、どの演技も感動しながら見せてもらっていました。観覧してくださった方が、子どもたちの演技にお褒めの言葉を下さり、「ものすごく感動したから、一言伝えたくて。この感動したことを子どもたちに伝えてあげてください。」と、わざわざお話に来てくださった方もいました。私たちに活力をくれるほどの力を子どもたちの演技は持っているのだなあと思うと、本当に天見小の子どもたちは、最高だ！と思うわけです。

いつも感じますが、縦割り競技やPTA競技などほっこりする時間もあり、子どもと家庭と地域としっかり融合された素敵な学校だと思います。縦割り競技でも、日常的に縦割りが稼働しているからこそ、安心して見ていられる高学年の低学年の子への優しさを感じたり、学年を超えてだれとでも話ができる雰囲気を持ったりしています。これはよその学校にない安心感があると自負できることです。

笑顔満点のかわいいダンスを披露してくれた1・2年生、鳴子の音をしっかりと鳴らしながら元気よく万博の歌に合わせて踊ってくれた3・4年生、フラッグをピタッとそろえ、組み立ての技を全員で極めた5・6年生。どの学年の演技も素晴らしかったです。また、徒競走などの演技も一生懸命走っている子どもたちを見ていると胸がジーンとなってしまうのを感じた運動会でした。天見小学校の運動会は河内長野一人数が少ない運動会ですが、河内長野一熱い気持ちとあったかい気持ちが会場全体に感じる素敵な運動会だと毎年思います。皆様、ご声援、ありがとうございました。最後の片付けも一緒にして下さってありがとうございました。

科学実験教室 & 天見にぎわいフェスタ

今年も、10月26日に「天見にぎわいフェスタ」が行われました。

それと同時に天見小学校でも、「科学実験教室」を開催しました。朝早い時間でしたが、この科学実験教室を楽しみに、たくさん子どもたちが参加してくれました。今年は、「脳科学」。脳科学というとなんだか難しいようなお話のように思いますが、錯覚で見えるものに違いが生じるいろいろなものを体験しました。有名なところでは長さが一緒なのに補充線で、長く見えたり短く見えたりするものや、逆に本当は長く見えているけれど、同じ長さだという情報を知っているせいで、真実が見えなくなっているなど、脳の働きについていろいろ教えてくださいました。さらには、二次元のものから三次元のものへと移り、上り坂に見えるものでも、実は下っていたりする立体模型なども体験しました。脳の働きって不思議が多いなあと思います。今回の科学実験教室もとても楽しく勉強させていただきました。森本先生、ありがとうございました。すでに、来年はどんな実験教室かとても楽しみにしている子どもたちでした。

フェスタは「地域の結束力」と「高齢化・災害に対応できるように」と、また、「住民以外の方にも、天見の自然豊かな暮らしに興味を持っていただけるように」という地域の方の熱い思いがあって催されているイベントです。昨年度から始まった「天見にぎわいフェスタ」ですが、今年も盛大に催され、とても楽しい時間をいただくことができました。「天見から巣立っていった人が皆、天見に帰ってきてもらって、ふるさと天見に人が集まってほしい。」「ミニ同窓会にでもなったらいいなあ。」「天見のまちの良さを知ってもらい、故郷が賑わってほしい。」そうおっしゃったお話がちゃんと形になっていると感じました。たくさんの方が天見の地に来て下さって、本当ににぎわっていました。天見小学校の保護者である若いお母さん方たちが、お店を出したいとブースを持ってもおられました。昨年度も感じましたが、「第二回 天見にぎわいフェスタ」も昨年度を上回る賑わいにびっくりしました。「地域の力、すごい！」と思いました。何度も何度も入念に天見小学校に下見に来られて、計画を練られている地域のみなさんに頭が下がりました。中学生も手伝いに来てくれていました。たくさんのお店が出てどの店もとてもすごい反響を呼んでいました。地域の皆さんの力の結集ですが、核となって動いてくださっている方や、お店を切り盛りして下さっている方は皆さん、60代から70代の方たちが多く、その元気なお姿にも私たちは逆に元気をいただくことができました。

こうして考えると、運動会では小学生に力をもらい、天見フェスタではご高齢の皆様から元気をもらい、就業している我々の世代こそ、もっと元気にもっと頑張ろうという力をいただけた気がします。

実行委員長をはじめとして天見まちづくり協議会のみなさん、連合自治会のみなさん、福祉委員のみなさん、児童民生委員のみなさん、本当にお疲れ様でした。人と繋がる、人と交わる、天見にたくさんの方が集まり、ともに楽しい時間を共有させていただきありがとうございました。「人が集まり」「交流を」「天見の良さを十分に知ってもらいたい」気持ちを全て凝縮した会を実現なされたことに、我々も力をいっぱいいただきました。

地域の力にあやかり、天見のいいところを皆さんにいっぱい知ってもらい、天見小学校にもたくさん子どもたちが学びに通ってくださったらいいなあと思います。今年度は10月25日から金剛駅、中百舌鳥駅、堺東駅に児童募集のポスターを張ってくださっています。町のスーパーやスイミングにも保護者の力で貼ってくださるようお願いしてくれました。皆さんの思いで小学生がたくさん集い、どんどんこのまちが明るく栄えますように！こんなに素敵なまちですからこの素敵なまちの魅力を皆さんに知っていただいて人と人がつながってくださったらいいなあと思いながら、天見フェスタに参加させていただきました。とてもいい会に、参加させていただきありがとうございました。